

長春市との市長等によるオンライン会談（令和2年10月27日）

仙台市長挨拶全文

大家好！張市長、賈副市長、こんにちは。仙台市長の郡和子です。お目にかかれましたこと、大変嬉しく思います。1980年10月27日に仙台市と長春市が国際友好都市となってから、本日でちょうど40周年となりました。長きに渡る数々の交流を経て、この記念すべき日を迎えましたこと、心よりお祝い申し上げます。

残念ながら、新型コロナウイルス感染症の影響により、直接お会いすることがかなわない状況ではございますが、このような形で、本日の喜びを張市長と共に分かち合えることは、大変意義深いことと存じます。両市は友好都市となって以来、40年の長きにわたり、スポーツ、文化、学術、行政など、幅広い分野で交流を重ねて参りました。多くの先達の皆様のご尽力により、両市の間には、確かな友好親善の絆が育まれてきたと感じているところでございます。

9年前の東日本大震災の際には、長春市の皆様から、温かな励ましの言葉や、多大なるご支援を賜りました。また、今年5月には、支援物資としてマスクをお贈りいただきました。こちらは感染症対策の最前線に立つ、仙台市内の医療関係者の方々に贈呈し、活用させていただきました。長春市の皆様から温かなお心遣いを頂いたことは、私たち仙台市民の胸に深く刻まれております。改めて、感謝申し上げます。

今なお、新型コロナウイルス感染症の世界的流行は続いておりますが、困難な時にこそ、両市の絆はさらに深まるものと信じております。近い将来、両国間の往来が再開し、両市の市民の皆様による、様々な分野における交流が、再び活発になりますことを、心より願っております。

最後になりますが、張市長をはじめとする長春市の皆様のご健勝と、長春市の益々のご発展をお祈りしますとともに、仙台市と長春市の交流が、末永く続きますことを祈念いたしまして、私からのご挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。謝謝。